

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第5部門第3区分  
 【発行日】平成23年8月18日(2011.8.18)

【公開番号】特開2010-25470(P2010-25470A)  
 【公開日】平成22年2月4日(2010.2.4)  
 【年通号数】公開・登録公報2010-005  
 【出願番号】特願2008-188947(P2008-188947)  
 【国際特許分類】

F 2 5 D 13/00 (2006.01)

F 2 5 B 1/00 (2006.01)

【F I】

F 2 5 D 13/00 1 0 1 D

F 2 5 B 1/00 3 2 1 P

F 2 5 B 1/00 3 8 1 D

【手続補正書】  
 【提出日】平成23年6月28日(2011.6.28)  
 【手続補正1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項1】

第1圧縮機と、第1凝縮器と、第1減圧装置と、第1蒸発器とを冷媒配管にて環状に接続し前記第1圧縮機から吐出された冷媒を前記第1凝縮器で凝縮させた後に前記第1蒸発器で蒸発させて冷却作用を得るようにした第1冷媒回路と、第2圧縮機と、第2凝縮器と、第2減圧装置と、第2蒸発器とを冷媒配管にて環状に接続し前記第2圧縮機から吐出された冷媒を前記第2凝縮器で凝縮させた後に前記第2蒸発器で蒸発させて冷却作用を得るようにした第2冷媒回路とを備え、前記第1蒸発器と前記第2蒸発器とを同時に同一の庫内の冷却を可能に配置し、同一の風路内に近接して順に配置される前記第1凝縮器及び前記第2凝縮器に送風可能に第1ファン及び第2ファンを前記第1凝縮器に相対向して並列に配置するとともに、前記風路内において、前記第1ファンは前記第1圧縮機に相対向し、前記第2ファンは前記第2圧縮機に相対向し、前記第1圧縮機及び前記第2圧縮機の夫々の運転を制御するための第1温度センサ及び第2温度センサを前記庫内の温度を検出可能に設け、前記第1ファン及び前記第2ファンを夫々前記第1圧縮機及び前記第2圧縮機とは別個に回転制御することを特徴とする冷凍装置。

【請求項2】

前記第1センサ及び第2センサは単一のセンサで共用していることを特徴とする請求項1に記載の冷凍装置。